

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

世界中のステークホルダーとともに歩む「共生」を掲げ、世界の繁栄と人類の幸福のため企業活動を進める

売上高
5兆円

営業利益率
12.0%

ROE
12.0%

2 中長期の経営戦略

1. 販売改革

米国での組織最適化に続き、2025年から欧州の販売体制を見直し2028年完了。新興国市場でのシェア拡大も推進

3. メディカル事業革新

2026年にキヤノンメディカルシステムズを統合し、あらゆるプロセスで改革を加速させコスト削減を実現

2. 生産改革

付加価値の高い製品に自社生産を絞り、海外拠点集約や外部委託活用。ロボット活用で強靱な生産体制を構築

4. AIプラットフォーム構築

散在するデータと現場ノウハウをデジタル化し、ソフトウェア・サービス売上拡大で収益性を高める

3 対処すべき課題

① 事業ポートフォリオの転換加速

- ・プリンティング・イメージングが引き続き大きな比重を占める成熟市場からの脱却が急務
- ・成長領域メディカル・インダストリアルへ軸足をシフトし、各グループでも成長領域への転換を図る

② 収益性の改善

- ・フェーズVIで掲げた営業利益率12%の目標未達。人件費上昇・物価高・関税が影響
- ・構造改革による生産性革新で営業利益率2028年12.0%、2030年15.0%を目指す

③ グローバル展開の最適化

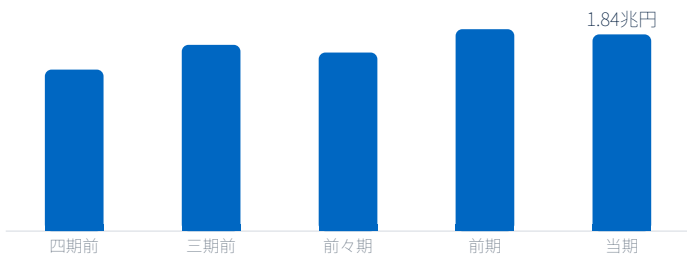
- ・欧州での販売体制見直しを2028年までに完了し組織効率化を推進
- ・アフリカ・中東・インド・インドネシア・中南米など新興国市場でのシェア拡大

面接で使えるポイント

- ・2026年開始フェーズVIIで『生産性革新を断行し、新たな成長を実現する』という基本方針のもと…
- ・AIプラットフォームを活用し、プリンティング機器や医療機器など顧客現場から得られる膨大なデータを分析して新たなソリューション…
- ・宇宙ビジネスを中長期の新成長領域として、キヤノン電子の人工衛星知見と光学・センシング・画像処理技術を統合し事業規模を拡大

証券コード 7751

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
64点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 62.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
882万円

電気機器内 35位/225社

平均年齢
44.3歳

電気機器内 81位/225社

平均勤続
18.9年

電気機器内 44位/225社

女性管理職
4.6%

電気機器内 107位/182社

男性育休
86.3%

電気機器内 70位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: キヤノン、子ども向け会社紹介冊子「キヤノン星のひみつ」を公開

